

4年ぶり

安来市青少年国際交流事業を再開

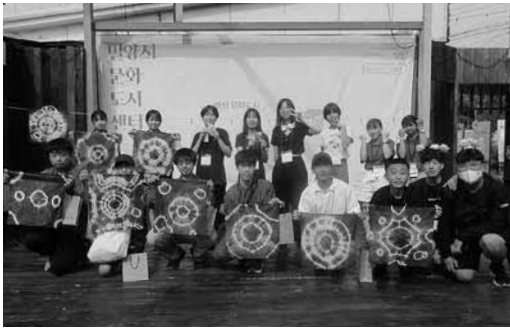
「韓国」密陽市

面積 約 799km²

人口 約11万人

韓国の東南に位置する都市で、安来市とは平成2年に姉妹都市となりました。

市では、次世代を担う人材育成のため、「安来市青少年国際交流事業」を行っています。
この事業は、海外に青少年を派遣することで、現地の文化や風土に接する機会を提供し、交流を通じて相互理解を深め、国際感覚を身につけてもらうことを目的に実施しています。
今年度は、4年ぶりに事業を再開。学習意欲にあふれる8人が参加して、密陽市の中学生との交流や文化体験を行いました。今後も市では、グローバル人材の育成に努めていきます。



▲韓国の飾り結び「メドップ」を利用したブレスレット作りと花染体験を、2班に分かれて体験しました。

▼密陽市役所を見学。密陽市の取り組みを学びました。写真はまるで市議会の議場のようですが、市役所の会議室で撮影されたものです。



▲韓国の三大楼閣に名を連ねる嶺南楼を見学、現地の学生と顔合わせをしました。

◆ 参加者コメント抜粋 ◆



広瀬中学校
3年
おおまがりそうすけ
大曲爽良さん

韓国は交通量が多く、高い建物も多かったのが驚きました。韓国の文化や歴史について、安来にただではわからなかったことを実体験として学ぶことができました。



第一中学校
3年
かしかい
加瀬愛理さん

韓国の食事の量の多さや器を持たないで銀のはしで食べることなど、食文化の違いを感じました。今回韓国に行ってみて、もっと韓国語を学びたいと思いました。



伯太中学校
3年
あいのん
門脇愛音さん

今回の経験を通じて、他国の人や新しい環境に関わる嬉しさを初めて知ることができました。人見知りでしたが、自分から話しかけることができました。



第一中学校
3年
せきやま
關山拓弥さん

韓国語で話すことはできませんでしたが、英語でコミュニケーションをとって仲良くなれました。物事に対する姿勢や考え方は韓国人も日本人と変わらないと感じました。



第一中学校
3年
にあみ
二岡愛美さん

独学で韓国語を勉強していたので、現地の人と話せる機会ができて、とても嬉しかったです。この経験を通して、将来韓国と関わる仕事をしたいと思いました。



第一中学校
3年
もりや
森山功基さん

バスに乗って密陽市の中学生と初めてした会話が「ラインを交換しよう」でした。初対面の人とも勇気を持って積極的に関わる姿勢を見習いたいと思いました。



第一中学校
3年
ゆう
吉岡 祐さん

韓国の人が温かく迎え入れてくれたこと、日本とはまた違う素晴らしい文化があることに感激しました。今回知った韓国の魅力をたくさんの人に伝えたいと思います。



第三中学校
3年
わかひ
若槻真穂さん

韓国の文化やマナーを学んで、みんなと仲良く交流できて、とてもいい経験になりました。もっと韓国語を話したり、書いたりできるようになりたいと思いました。